



センコーグループ
第105期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

中期経営5ヵ年計画の最終年度。
経済活動の正常化を見据え、
業績のさらなる伸長と
持続的な成長を目指します。



代表取締役社長
福田 泰久

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第105期中間期における営業の概況と
決算につきましてご報告申し上げます。

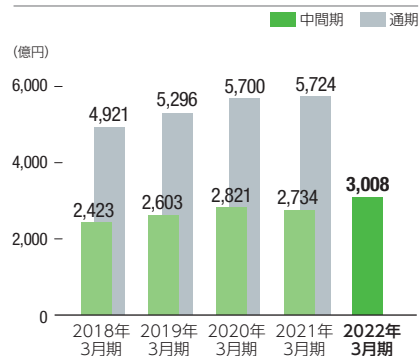
当中間期の事業環境

当第2四半期連結累計期間(中間期)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、依然として厳しい状況で推移いたしました。ワクチン接種などによる社会経済活動正常化への期待感が高まっているものの、いまだ先行き不透明な状況が継続しています。

当中間期の取り組みと実績

物流事業において物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善、生産性向上にグループ全体で取り組むとともに、M&Aを推進した結果、連結営業収益、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

連結営業収益(売上高)



事業別の取り組みと業績

物流事業では、前年同期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少した物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善、生産性向上に取り組むとともに、前期に実施したM&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は2,085億40百万円と対前年同期比204億71百万円の増収、セグメント利益は108億83百万円と対前年同期比23億23百万円の増益となりました。

商事・貿易事業では、4月に家庭紙卸売のアズフィット(株)を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、収益認識会計基準などの適用影響、燃料販売における仕入価格の上昇などにより、営業収益は750億10百万円と対前年同期比25億23百万円の減収、セグメント利益は13億72百万円と対前年同期比88百万円の減益となりました。

その他事業では、2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内(株)を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト

改善などに努めましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことなどにより、営業収益は172億11百万円と対前年同期比93億64百万円の増収、セグメント損失は1億6百万円と対前年同期比79百万円の減益となりました。

年間配当金は32円に増配予定

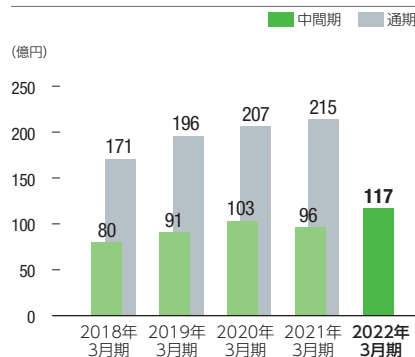
当社は、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、1株当たり17円とし、年間配当金は期末配当金と合わせ、32円を予定しております。

今後も、当社はグループ一丸となって、さらなる発展に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

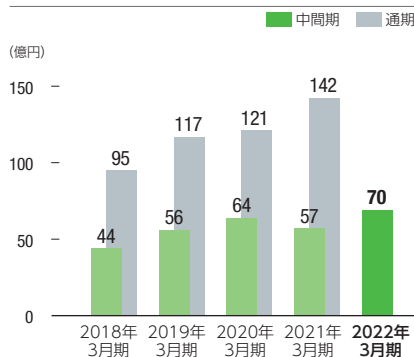
免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

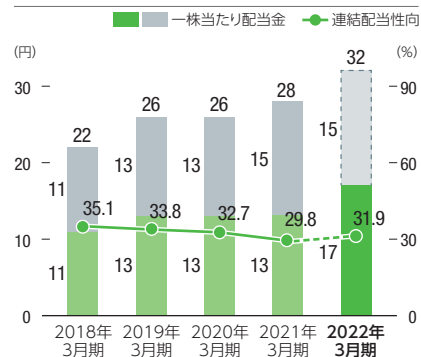
連結営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



一株当たり配当金／連結配当性向



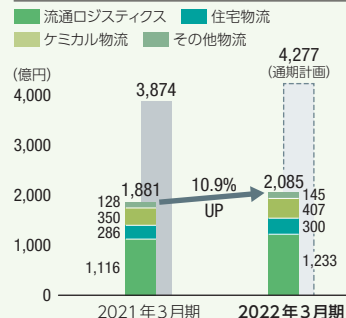
第105期中間期のセグメント別(事業別)の概況をお知らせします

物流事業

営業収益 **2,085** 億円 営業利益 **109** 億円

前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少した物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、前期に実施したM&Aの収益寄与があったことなどにより、セグメント利益は108億83百万円と対前年同期比23億23百万円の増益となりました。

事業収入



流通ロジスティクス

事業収入 **1,233** 億円

当期の収入は1,233億円と対前期比117億円の増収となりました。



住宅物流

事業収入 **300** 億円

当期の収入は300億円と対前期比13億円の増収となりました。



ケミカル物流

事業収入 **407** 億円

当期の収入は407億円と対前期比57億円の増収となりました。

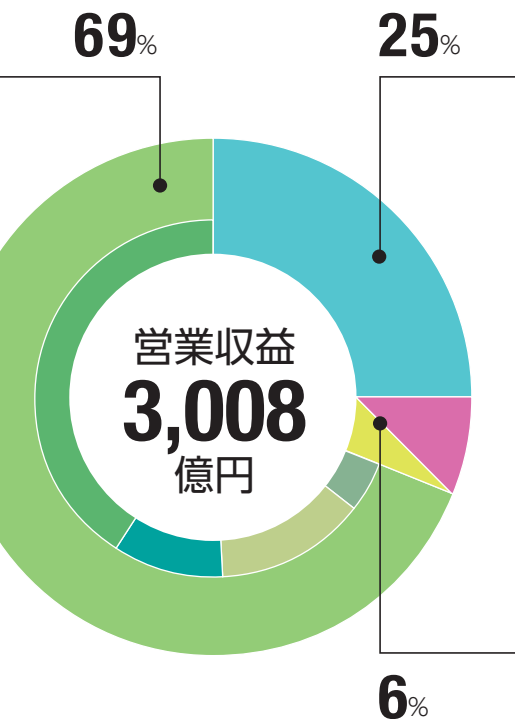


その他物流

事業収入 **145** 億円

当期の収入は145億円と対前期比17億円の増収となりました。





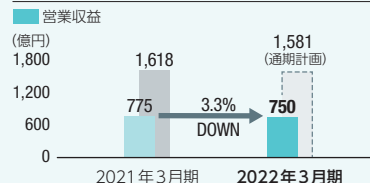
商事・貿易事業

営業収益 **750** 億円 営業利益 **14** 億円

4月に家庭紙卸売のアズフィット(株)を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、収益認識会計基準の適用影響、燃料販売における仕入単価の上昇などにより、セグメント利益は13億72百万円と対前年同期比88百万円の減益となりました。



事業収入



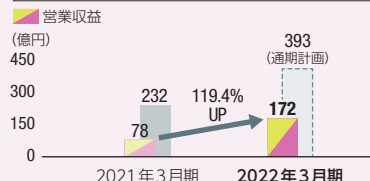
その他事業

営業収益 **172** 億円 営業利益 **△1** 億円

2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内(株)を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことなどにより、セグメント損失が1億6百万円と対前年同期比79百万円の減益となりました。



事業収入



岐阜羽島PDセンターを開設。グリーンボンドを活用して太陽光

中部地区の中核となる岐阜羽島PDセンターを開設しました。

また、このセンターの建設にあたり、「グリーンボンド」を活用し、環境と事業の両立へチャレンジしています。

中部地区の需要拡大に対応

2021年5月、センコー(株)は岐阜県内では当社初の大型物流センターとなる「岐阜羽島PDセンター」を開設しました。

新センターは、岐阜羽島インターから約600mの好立地にあり、東海環状道路など高速道路の整備も進む中、企業進出の活発化が想定される岐阜県西部をはじめ、東海・北陸地区での販路拡大を図ります。

当社は、岐阜県瑞穂市、各務原市、大垣市に物流拠点を保有していますが、大型の物流センターを岐阜県内に開設するのは今回が初めてです。



隣県の愛知県・小牧地区に設置している物流センターでは、年々荷扱量が増加しており、新センターは、これらの需要に対応していくとともに、中部地区での新たな配送拠点としてさらなる事業拡大も進めていきます。

発電パネルを設置しました

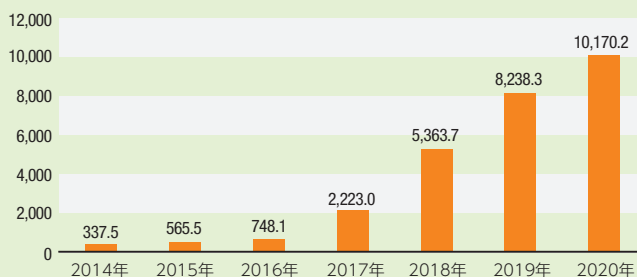
環境対応でグリーンボンド適用可能に

このセンターの建設には、グリーンボンドで調達した資金を使用しています。

グリーンボンドとは、国内外の環境問題の解決に貢献する事業（グリーンプロジェクト）に必要な資金を調達するため、企業や地方自治体などが発行する債券のことです。

用途がグリーンプロジェクトに限定され、調達資金が追跡管理されるとともに、それらについて発行後のレポートで透明性が確保される、などの特徴があり、利用が増加しています。

国内企業などによるグリーンボンドの発行額推移 (単位:億円)



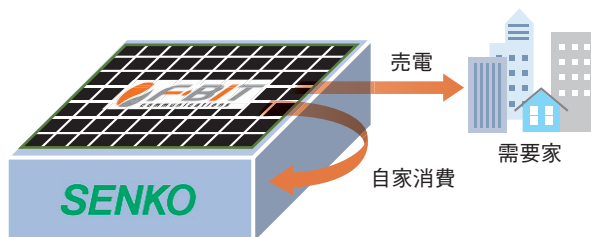
出典: https://www.fsa.go.jp/singi/social_bond/siryou/20210310/03.pdf

岐阜羽島PDセンターは、①自家消費型太陽光パネルの「PPAモデル」(コラム参照)による設置、②LED照明・空調設備などエネルギー効率の高い省エネ設備の導入、③計画的な物流拠点の整備によるモーダルシフトの推進など、グリーンプロジェクトに適合する施設として必要な要件を備えることでグリーンボンドの発行が承認されました。

「PPAモデル」のしくみ

PPAモデルとは、施設所有者が無償提供する屋根などのスペースに、発電設備の所有・管理を行う会社(PPA事業者)が設置した設備で発電した電力を施設所有者へ有償提供するものです。

今回のセンターでは、太陽光発電パネルの投資や修理はF-BIT社が行います。契約終了後には、太陽光発電パネルがセンコーの所有となります。



物流事業のさらなる拡大に加え、環境への取り組みも進めている

千葉県と上海に物流センターを開設。国内外でネットワークを強化しています。

2021年11月、センコー(株)は千葉県印西市に「印西第2ロジスティクスセンター」を開設しました。

同センターは首都圏への配送拠点として、また、東京港、成田国際空港など貨物の輸出入拠点からもアクセスが良い立地にあります。周辺30km圏内には当社の物流拠点が多数あることから、グループのネットワークを活かした物流サービスを展開していきます。

ここでは、主にスポーツアパレル商品を取り扱う予定で、既設センターと合わせて、スポーツアパレルの物流

プラットフォームを構築し、事業拡大を進めていく考えです。

また2021年3月には、当社と(株)ランテック、中国の「中外運跨境電商物流有限公司」の3社で「上海低温物流センター」を稼働しました。

新センターは、上海市および近郊地区をカバーできる好立地にあり、冷凍・冷蔵設備も日本製の省エネ型の自然冷媒冷凍機を採用し、CO₂排出量削減にも配慮しています。今後、中国における食品や酒類の輸出入・国内販売ライセンスを活かして、事業の拡大を進めていきます。



印西第2ロジスティクスセンター



上海低温物流センター

Webによる配送マッチング事業を開始しました

2021年5月、センコー(株)は(株)ロジカムとともに、クラウド上で荷主と軽貨物運送事業者をマッチングする「サポロジ」を開始しました。

サポロジは、登録ドライバーが輸送依頼を選んで対応するシステムで、チャーター便や定期便などの効率配送もコーディネートする機能を備えています。



濃硫酸船「祥硫」を建造。 他社の業務を引き受け

2021年8月、グループ会社で内航・外航海運事業を行う日本マリン(株)とセンコー汽船(株)が、濃硫酸船「祥硫(しょうりゅう)」を建造、就航しました。

この船は、既存顧客が使用する濃硫酸専用船の老朽化に伴い建造したもので、これにより他社が行っていた輸送業務を任せさせていただくことになりました。今回の業務引き受けは、センコー汽船が2020年5月から運航を開始した「日扇丸」、日本マリンが同年8月から運航を開始した「吉祥」の、安全で安定した輸送実績を顧客に評価していただいたことが繋がった結果です。

本船は、慎重な荷扱いが求められる濃硫酸の瀬戸内海各港への輸送を担っています。日本マリンとセンコー汽船は、これを機にさらに無機製品輸送領域に進出し、輸送シェアの拡大と売上拡大を目指していきます。



「第22回物流環境大賞」で 3件、受賞

2021年6月、一般社団法人 日本物流団体連合会から「第22回物流環境大賞」の部門賞2件と特別賞1件を受賞しました。

(株)ランテックが受賞した「低炭素物流推進賞」は、宮崎県から関西地区へのブローラー輸送を海上輸送へモーダルシフトしたことが評価されました。また、同社の「サステナブル活動賞」は、「ハイブリッド電動式冷凍機」の開発など先進機器の導入などによりCO₂排出量を削減した成果によるものです。

センコー(株)の「特別賞」は、オリオン機械(株)様とともに北海道から西日本エリアへの酪農機器輸送において、陸送による直送運行から大型幹線による海上輸送へ切り替え、CO₂排出量の削減が評価されたものです。



連結財務状況

貸借対照表の概要

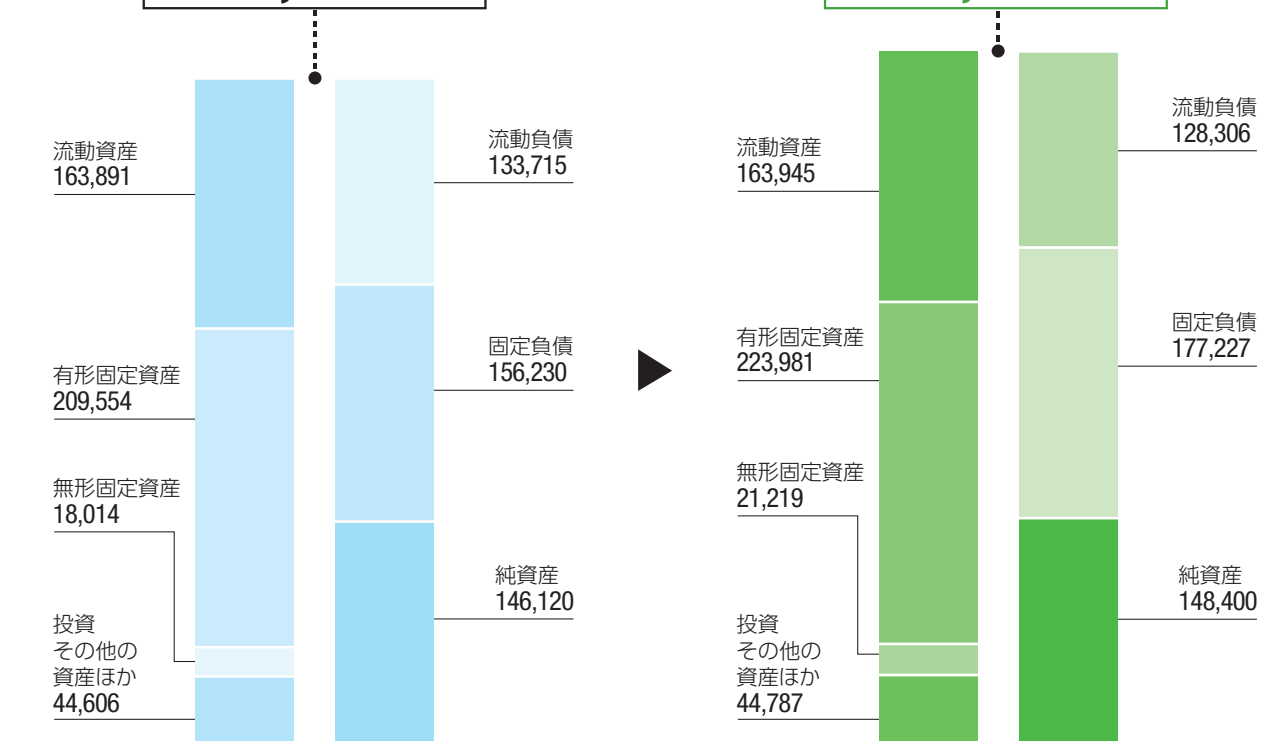
単位：百万円

2021年3月31日

2021年9月30日

資産合計・負債純資産合計
436,066

資産合計・負債純資産合計
453,934



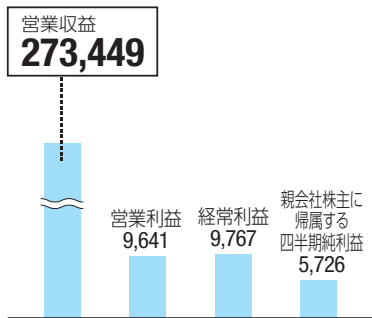
詳細な財務諸表は、下記URLもしくは
右の2次元バーコードからご覧いただけます。
<https://www.senkogrouphd.co.jp/ir/library/brief/>



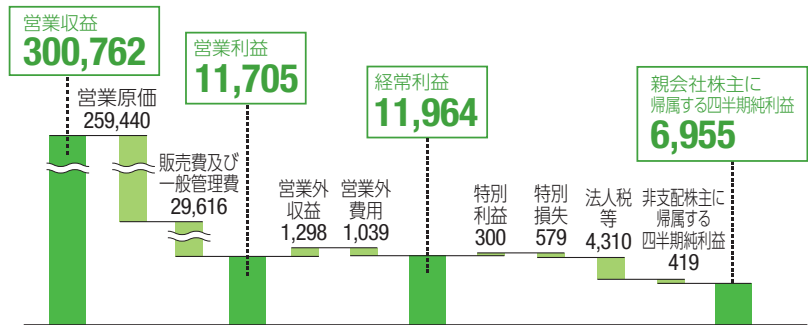
損益計算書の概要

単位：百万円

2020年4月1日～2020年9月30日



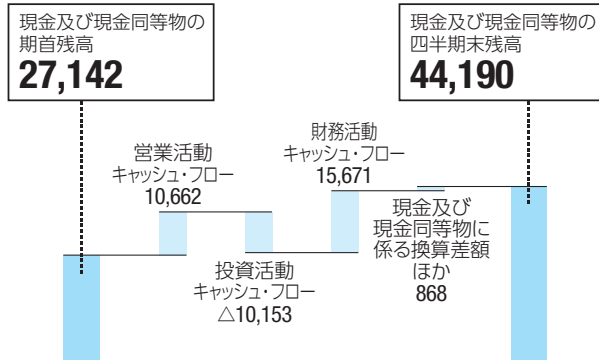
2021年4月1日～2021年9月30日



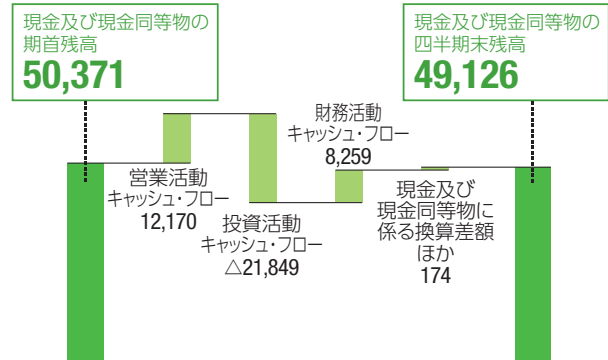
キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

2020年4月1日～2020年9月30日



2021年4月1日～2021年9月30日



会社概要

(2021年9月30日現在)

商号	センコーグループホールディングス株式会社 (SENKO Group Holdings Co., Ltd.)
創業	1916年9月
設立	1946年7月
本社所在地	東京都江東区潮見二丁目8番10号
資本金	265億64百万円
グループ従業員数	20,642名
グループ会社数	154社(子会社143社、関連会社11社)

役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長	福田 泰久	常勤監査役	上中 正敦
取締役常務執行役員	佐々木 信郎	常勤監査役	鷲田 正己
取締役常務執行役員	白木 健一	常勤監査役	松友 泰
取締役	山中 一裕	監査役	岡野 芳郎
取締役	米司 博	常務執行役員	大野 茂
取締役	谷口 玲	常務執行役員	竹谷 聡
取締役	高梨 利雄	執行役員	篠原 信治
取締役	飴野 仁子	執行役員	森口 嘉久
取締役	杉浦 康之	執行役員	長友 孝司
取締役	荒木 葉子	執行役員	田中 正志
取締役	奥野 史子	執行役員	小久保 悟
		執行役員	増田 康裕
		執行役員	新田 浩隆

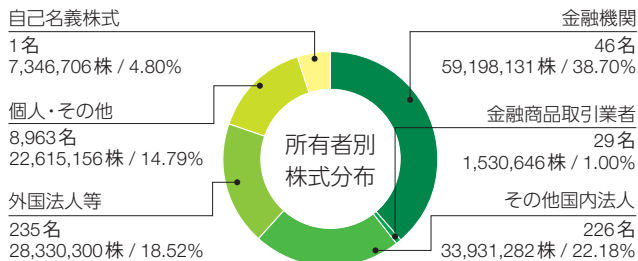
株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	294,999,000株
発行済株式総数	152,952,221株
株主総数	9,500名

所有者別株式分布

(2021年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.senkogrouphd.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内
税務関係のお手続きのため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届いただく必要があります。お届出のお手続きについては、口座を開設されている証券会社などへお尋ねください。

センコーグループホールディングス株式会社

URL <https://www.senkogrouphd.co.jp>

〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目8番10号

公式 Instagram
senko_group.official

